

講座報告
植物模型を作る
朝倉久美子



寺内さんの説明を聞く参加者



立体植物模型作りにとりくむ様子

樹脂粘土で美しい立体植物模型をつくるサポーターの寺内恭子さんから、その技術を教えていただく講座に参加しました。参加者は6人。

寺内さんの作品はミドルヤード講座室C（植物学者になれる部屋）に展示されていた高山植物や、ふじミュ－自然系文化祭に出展されたカラスウリなど、その繊細な技法にどうやったらこんなものが作れるのだろうと、とても興味を持っていました。もう長年やってられるのだろうと思ったら、まだ3年くらいで、きっかけはNHKの「さし旅」を見て、そこから独学とのことでまたびっくりですが、植物に対する深い興味と並々ならぬ芸術的センスに加え、並々ならぬ器用さが絶妙にマッチングして独自の分野を作られたのでしょう。

教えていただいたのはヤブコウジ、ふじミュ－の自然観察路でもおなじみの植物です。

材料は樹脂粘土と手芸用ワイヤと油絵具。実物のヤブコウジを持ってきてくださって、葉の付き方や実がどのように出ているのか、「よ～く見て」と何度も言われました。上手に作ることより観察することのほうが大事と繰り返されました。

実はまん丸なのでわりと簡単でしたが、葉は薄く伸ばした粘土に本物の葉の葉脈を押し当てて転写し、莖はワイヤに薄く粘土を伸



完成したヤブコウジの模型

ばし、結果本物よりだいぶポツテリになってしまいました。次は油絵具を少しずつ混ぜて着色します。葉の色もわずかな調合でずいぶん違う色になってしまい、今ひとつ納得できる色合いにならぬまま、気がつけば作業終了です。寺内さんが用意してくださった器（百均の小鉢）に粘土の台を入れて植え付け、コーヒーの出殻を擬似土に、そしてその上に杉の落ち葉をパラパラと撒くとあら不思議、私の駄作もそれなりに味わいのある作品に仕上がりました。

模型を作ることによって、ひとつの植物とじっくり向き合う、とても良い機会をいただきました。ありがとうございました。